

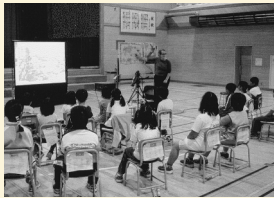
北方圏センター だより Northern Regions Center NEWS

深川市と朝日町で 国際理解教室を開催

9月10日・12月18日

平成15年度の国際理解教室の第1回目を9月10日(水)に深川市の多度志小学校で、2回目を12月18日(木)に上川管内朝日町の朝日中学校でそれぞれ開催した。

多度志小学校では、ニュージーランド出身で道国際交流員のメイヨン・リス・ウィリアムスさんを講師に、全校生徒46名を低学年と高学年の2グループに分け、ニュージーランドの生活・文化や、小学校の授業スタイル、教室の風景などについて日本と比較しながら、分かり易く紹介された。先住民マオリ族の生活・風習に関する話は特に生徒たちの興味をひいた様子で、メイヨンさんが演ずるマオリ族の力強い踊りのパフォーマンスに歓声が上がった。メイヨンさんは、低学年と高学年では生徒の理解度が異なるにもかかわらず、子どもたちの関心を上手に引き出し、異文化に対する理解を深めることに成功していた。



一方、朝日中学校では、アメリカ人で札幌旭丘高校非常勤英語講師のブライアン・プレベンスさんが講師となり、全校生徒24名を対象に実施したが、授業はすべて英語で進められた。講師の自己紹介の後、ゲーム式で生徒に自己紹介をさせ、教室の全員参加の雰囲気を作り、質問タイムでアメリカのことに関する知識を



学んだ。その後に行われた、ゲーム式クイズは、正解と思う方の椅子に早く座った者が勝ちというもので、勝つためには英語の意味を早く理解する必要があり、真剣に聞いて考えるという良い訓練にもなり、英語に親しみを持ち、英語の必要性を痛感した生徒も多かった様である。

なお、今年度3回目の国際理解教室を2月24日(火)に網走管内津別町の津別高校で開催した。
(交流部)

北海道フィンランド協会と共同主催で 「フィンランドセミナー」を開催

1月30日

北方圏センターと北海道フィンランド協会では、昨年12月に続き、北方圏講座「フィンランドに学ぶ」セミナーを開催した。今回はラップランド大学事務総長のユハニ・リルベリ(Juhani Lillberg)さんを講師に「変革真っ只中のラップランド 観光に明るい未来はあるか」と題してラップランドにおける地域開発、観光そしてそれに関連する教育・研究等について講演してもらった。



フィンランド北部のラップランド地方は人口の減少や高齢化、また政治・経済の他の地域への転換など大きな変革の中にある。地域経済にとって重要な産業である観光の現況を紹介、旅行者にとって魅力ある自然環境と北方地域の独特な文化をどのように持続可能で収益性のある仕組みで開発するかというラップランドの観光戦略について、体験観光の役割や観光を推進するための専門家の育成など具体的に説明した。

この分野の最新の動きとしては今年年頭、ラップランド大学に新たな学部、観光・経済学部が開設された。フィンランド北部のラップランド及びラップランド観光の取り組みは北海道観光にも参考になることの多い内容であった。
(調査研究部)

道内の国際協力関連イベントの情報をお届けします!

北方圏センター国際協力部では、国際協力情報収集提供事業の一環として、国際協カイベントの情報をメールにて、お送りしています。メールの配信をご希望の方は、お名前(フリガナ)とメールアドレスを、国際協力部宛にご連絡下さい。

国際協力部メールアドレス

intc@nrc.or.jp

ジャイカ
(北方圏センターは、JICA北海道国際センターの管理運営を委託されています)

北海道国際センター(札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号
TEL.011(866)8680 FAX.011(866)8425

北海道国際センター(帯広)

〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL.0155(35)2161 FAX.0155(35)2213

Northern Regions Center (NRC)
社団法人 北方圏センター

JICA 独立行政法人 国際協力機構
ジャイカ

本紙の送付をご希望の方、また各地の情報やご意見など下記宛にお寄せください。
国際協力情報紙「であい」第32号

発行日:2004年3月5日
発行:(社)北方圏センター〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館12階
TEL.011(221)7840 FAX.011(221)7845 <http://www.nrc.or.jp>
E-mail address: pbl@nrc.or.jp (出版部) intc@nrc.or.jp (国際協力部)

発行者:林 敏明
印刷:岩橋印刷株式会社